

# 宮津まちなみシンポジウム Vol.16

## 宮津の 建築 × 茶道

— 伝統と近代、文化の融合 —

2026年10月3日（土）13：00 — 17：40

会場：宮津市庁舎・旧三上家住宅



旧三上家住宅（重要文化財）



宮津市庁舎（DOCOMOMO Japan 選定建物）

伝統的日本建築である「旧三上家住宅」と、戦後の革新的モダニズム建築として現存する「宮津市庁舎」は、どちらも宮津の歴史文化を後世に伝える重要な建築物です。今回のシンポジウムは、「茶道」という文化体験を通じて建築物の新たな活用の可能性を探る、宮津初の試みです。

### 第1部 歴史的文化空間体験プログラム

宮津市庁舎と旧三上家住宅、二つの建築空間を徒歩で移動し、それぞれの趣を活かしたお茶席と専門家による建築解説を体験していただきます。茶道未経験の方も大歓迎です！

- ・ 12：30 - 13：00 受付 集合場所：宮津市庁舎（要予約申込※先着 40 名限定）
- ・ 13：10 - 16：30 ①宮津市庁舎広場での茶席（野点席）と建物見学  
②旧三上家住宅庭座敷での茶席（薄茶席）と建物見学

参加費 1500 円（お茶・お菓子代として） ※予約の詳細は裏面をご覧ください

### 第2部 まちなみシンポジウム

- ・ 16：10 - 16：30 受付 場所：旧三上家住宅（申込不要・入場無料）
- ・ 16：40 - 17：40 トークショー「伝統建築空間と近代建築空間の活用」

主催：NPO 天橋作事組 / 共済：（一社）茶道裏千家淡交会宮津青年部・両丹青年部

後援：宮津市・宮津市教育委員会・（一社）京都府建築士会宮津支部・（一社）日本建築協会京都支部



第1部：歴史的文化空間体験プログラムについて

宮津の 建築 × 茶道

①宮津市庁舎 × 茶道 × 近代

会場：宮津市庁舎広場  
野点席担当：裏千家淡交会両丹青年部

宮津市庁舎は、建築家・沖種郎（おき たねお）の設計によるものです。沖は丹下健三のもとで建築を学びました。宮津市庁舎には、丹下由来の戦後鉄筋コンクリート構造のモダニズム建築の雰囲気がよく表れています。庁舎建築は師である丹下も得意としたビルディング・タイプでしたが、沖の庁舎はそれとはまた一味違った宮津の風土を生かした良さがあります。この点が評価され、2016年にはDOCOMOMO Japanの選定建物となりました。

宮津市庁舎が「ジャングルジム・システム」の考え方で構成されていることは徐々に知られてきましたが、沖の空間論である「非単位空間」の考え方もまた踏襲されていることは未だあまり知られていません。その考え方が最も明確に表れている広場は、多様で自由な行為を受容する空間として設定されていました。広場は現在、駐車場となっていますが、今回のプログラムは沖の考えに基づき、庁舎広場を自由に、茶席として使用してみるという試みです。野点を行う棚は今回のために特別にデザインしたものを使用します。

②旧三上家住宅 × 茶道 × 伝統

会場：旧三上家住宅庭座敷  
薄茶席担当：裏千家淡交会宮津青年部

1776年に三上勘兵衛が現在地に屋敷を構えたことから旧三上家住宅の歴史は始まります。屋敷は1783年の大火によって一旦は焼失しますが、同年中には再建され、現在の主屋がほぼ完成しました。三上家は酒造業、廻船業、糸問屋などを主な生業として財をなし、宮津城下有数の商科に成長し、宮津の歴史を支えました。旧三上家住宅は、現存する町屋建築としては大規模なものであり、徹底した防火構造や、家業の発展にともなう増改築の様子をよく示す建築物です。その歴史文化的価値から、2003年には国の重要文化財に指定されました。

今回のプログラムでは1837年に増築された庭座敷での薄茶席を用意しています。庭座敷からは京都府指定名勝である庭園を眺めることができます。庭園は宮津藩御用庭師の江戸金（えどきん）の作庭と伝えられ、幕府巡見使や西園寺公望、有栖川宮熾仁親王をはじめ、当家を訪れた人々の目を楽しませたものと思われます。茶道の伝統的なしつらえと庭園によって、宮津の秋の風景を感じられる一席をご用意しております。

第1部 歴史的  
文化空間体験  
プログラムの  
お申し込みについて

申込先：QRコードを読み取り、  
必要事項をご入力ください。



以下の連絡先（今村）に直接  
ご連絡いただくことも可能です  
[y.imamura@maizuru-ct.ac.jp](mailto:y.imamura@maizuru-ct.ac.jp)

- ※先着40名様限定です。
- ※参加費は当日現金で徴収いたします。  
お釣りのでないよう、ご準備ください。
- ※宮津市庁舎および、旧三上家住宅の駐車場は利用できません。
- ※お茶とお菓子の用意がありますので、万一キャンセルされる場合は3日前までに必ずご連絡ください。9/30以降のキャンセルは、参加費の全額を徴収いたします。



コーディネーター 尾上 亮介  
舞鶴工業高等専門学校教授 博士（芸術文化学）  
専門は建築設計・建築計画学。旧三上家住宅保存活用計画策定検討委員会委員長。



スピーカー 河森 一浩  
宮津市教育委員会 職員  
専門は考古学。文化的景観の保護・活用など、宮津市の文化財行政に従事。



スピーカー 今村 友里子  
舞鶴工業高等専門学校講師 博士（工学）  
専門は近代建築史・建築論。宮津市庁舎の設計者・沖種郎の研究を行う。

第2部 まちなみシンポジウム  
登壇者 プロフィール